

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	兼業農家等支援事業			基本計画	節	3	総合戦略	基本目標	
事業コード					テーマ	1		施策の方向	
課係名	農政課振興係	内線			施策	3		施策	
担当者氏名		職名			主な施策展開	3		整理番号	

事業実施の経緯(現状)	本市の農家数の約8割が兼業農家であり、専業農家に比べて小規模での耕作者とはいえ、本市で農業に取り組む重要な存在である。しかしながら、現状、国、県も含め、兼業農家等に対する支援策が無いことから、本市による独自の支援を行い、農業者数を維持し、後継者の育成や、遊休農地の解消など様々な問題解決を行う必要がある。
めざす姿・ねらい(目標・目的)	離農の要因の一つとして、農業用機械の維持管理に多額の費用がかかり、農業を続けていくのが困難となっていることが挙げられるため、農業用機械の維持管理の費用に対して補助を行う。
実現するための課題(問題点)	農業経営面積が極めて小さく農業経営が効率的に且つ安定的に継続して行われていないこともあるため、ある一定の経営耕地面積基準を設け、対象者を限定する必要がある。
具体的な取組(解決策)	農地法第3条に定められている経営面積の下限面積をもとに、経営耕地面積が50アール以上の農業を営む者に支援する。

主要指標	指標の種類		指標及び目標値(目標)の考え方	目標値(目標)		
	名称			年度	年度	年度
■活動指標	①	兼業農家等支援の申請件数		5件	5件	5件
	②	遊休農地の比率の増加抑制		9.70%	9.70%	9.70%
■成果指標		農業従事者数の維持		824	824	824

実施根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令計画名	①	②
			③	④
		補正予算要求理由		

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期	~ 終期	内容	

事業費の積算(千円)	年度	補助率 補助対象経費の1/2 ※上限200,000円 200,000円×5名=1,000,000円	事業費		人工数	内容
			国県	市債		
5年度			事業費	1,000	人工数	年月
			国県		人件費	5.2 交付要綱制定
			市債			5.3 要望募集
6年度			事業費	1,000	人工数	適宜 交付申請
			国県		人件費	適宜 交付決定
			市債			適宜 事業着手
7年度			事業費	1,000	人工数	適宜 事業完了
			国県		人件費	適宜 実績報告
			市債			適宜 交付確定
			一般財源	1,000		適宜 交付請求
			その他			適宜 交付

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 事業の必要性		<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や市民ニーズと整合があるか。 ・市が事業を行うことについて妥当であるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 必要性が高い B. 必要性が認められる C. 必要性について検討が必要である	兼業農家等の農業の継続を支援することにより、担い手不足の問題解消や農業従事者数の維持につながると考えられ、農業後継者の育成を計画に位置付ける市として事業を行うことは、妥当である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画基本計画の施策の達成にどのように寄与するか。 ・ほかの事業と関連できる場合、より有効に働く面はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 有効性が高い B. 有効性が認められる C. 有効性について検討が必要である	農業機械に関する経費を支援することにより、兼業で営む農業従事者の負担軽減を図ることができ、農業後継者の育成に寄与する。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・投入したコストに見合った成果があがる見込みがあるか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	A	A. 効率性が高い B. 効率性が認められる C. 効率性について検討が必要である	農業機械に関する経費を支援することで、兼業等で営農規模の拡大も期待でき、遊休農地の解消にも成果が見込める。
	4. 財源確保の見通し		<ul style="list-style-type: none"> ・国・県補助等の見通しはどの程度までであるか。 ・財源確保のため、他の事業を縮小又は廃止できる可能性はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点などを参考にしてください)
	C	A. 見通しがある B. 一部見通しがある C. 見通しがない	財源確保の見通しはない。

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	農業後継者の育成に資する事業と認められるが、昨年度提案から改善が見られず制度設計について十分詰められているとは言えない。また公平性に疑問が残るため、実施を見送るものとする。
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由
	C	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	制度設計が十分精査されているとは言えないことから実施を見送るものとする。
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性
	A	A. 計画どおり事業を実施 B. 一部改善をした上で実施 C. 実施しない	担当課の提案どおり実施するものとする。